

遺跡遠景（北側上空から）

# 木炭窯跡を新たに発見！

だいきちやまかわらかまあと

## ⑥史跡大吉山瓦窯跡 (大崎市古川小林)



遺跡の詳細な解説動画  
はこちらから！



江合川左岸の丘陵上に位置する、陸奥国府多賀城むつこくふや付属寺院の多賀城廃寺に瓦を供給した奈良時代の窯跡かまあとです。

多賀城跡調査研究所による発掘調査が令和3年から行われています。

調査の結果、多数の瓦とそれらを焼成した窯、木炭を焼成した窯がみつけられました。

木炭窯の発見は、県内の8世紀前半頃の瓦窯跡群では初めてのことです。側壁の一部や煙道などが残っていたため、窯の構造を知ることができました。

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

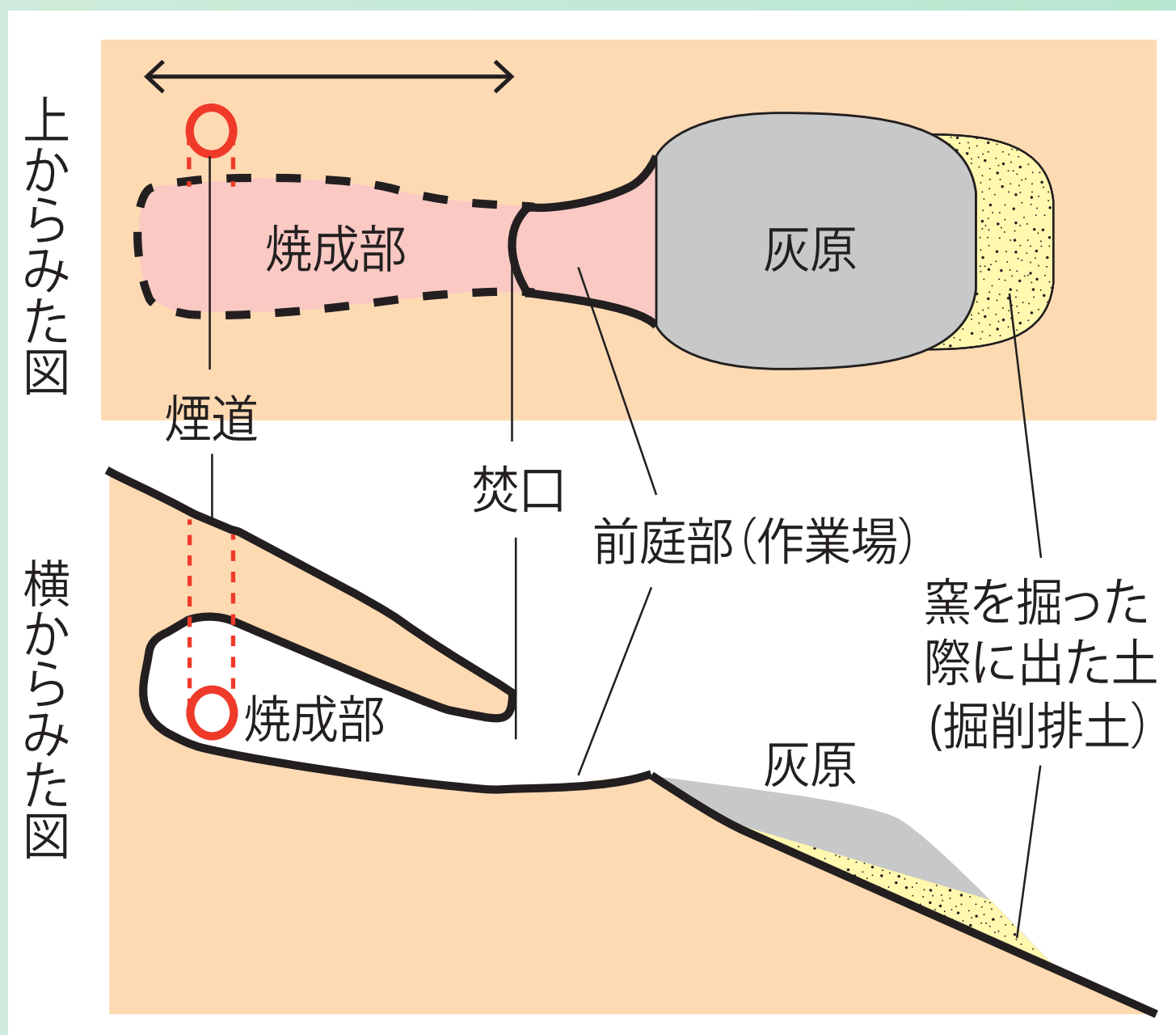
明治





調査区全景（東から）

木炭窯の長さは約 5.8m、天井は奥壁で約 1.0mの高さがあり、平面形は羽子板状をしています。<sup>はごいた</sup>



窯の床面は2面確認でき、少なくとも2回木炭が焼かれたことが分かります。床面付近には、炭の小片などを含んだ真っ黒な層がみられます。



煙道が、焼成部（上図）の側面に付いており、奥壁に煙道が付く瓦窯とは異なります。

木炭窯と瓦窯では、煙を排出する部分の仕組みが違っているんだね！

